

# 若者が躍動する協働のまちづくり

～〈地域〉に支えられ大人の背中を見ながら、志をもって  
「まなぶ」子どもたち～

※地域には、自然や家庭、学校を含む

地域の  
特色ある  
活動

## 山形県遊佐町教育委員会

### 1 はじめに

遊佐町は、鳥海山（独立峰 2,236 m）が日本海に裾野を入れて秋田県と境をなし、山形県の「おでこ」として庄内平野北端に位置する、人口約 1 万 3 千人の農業が中心の町です。

本町は、古代に起源する歴史と文化の町を任じています。鳥海山の麓には約 3 万年前から人々が暮らしていました。その一角をなす縄文の小山崎遺跡は、令和 2 年に国指定史跡になりました。神の棲む山と崇められてきた鳥海山は、山容の秀麗さから「出羽富士」とも呼ばれ、国指定の史跡になっています。「遊佐の小正月行事『アマハゲ』」は、秋田県のナマハゲ等とともに、「来訪神：仮面・仮装の神々」として、平成 30 年にユネスコ無形文化遺産に登録されています。10 数年前の映画『おくりびと』では、本木雅弘さんが演じる主人公が、鳥海山を背景に河畔でチェロを演奏するシーン等が撮影されています。



### 2 遊佐町の教育の目指す姿

本町の教育の基本目標は、「ふるさとを愛し、未来を拓く『いのち』輝く町民の育成」です。

豊かな自然に恵まれ、歴史的遺産や伝統文化を学ぶにつけ、往時の人々の豊かな感性と満ちあふれる生命力に感銘を覚えます。時代は進み、少子化を伴う人口の減少、ICT 化

をはじめとする技術革新、地域のコミュニティの希薄化等が顕在化し、これらの変化に伴う様々な問いが出されています。

子どもも大人も「地域（ふるさと）」に根を張り、不易と流行を見極めながら「学び」をつないで人格の形成に努め、「いのち」輝いて生きる日々を希求したいものです。町の将来像の一つ「子どもたちに夢を」を合言葉に、町民一人一人が心豊かに自立し、社会に貢献しながら人生を切り拓き、「いのち」を未来につないでいくことを願っています。

### 3 大人とともに若者が躍動する姿

地域全体で子どもと大人が育つコミュニティ・スクールの推進を核に、子どもたち・若者たちの地域参加・活動を進めています。

#### ① 自然に学ぶ

自然教室を小学 5 年生が 4 泊 5 日、小学 4 年生と中学 1 年生が 2 泊 3 日で実施しています。海や川でのカヌーや筏での川下り、庄内浜文化伝道師による地魚の調理による野外炊飯、ジオパークの巡検等の自然体験を通してふるさとの自然を満喫します。

地域の先生に日常的に支援をいただき、畑・田・川等にフィールドを広げての学習や緑の少年団による海岸線のクロマツ保全活動、PTA 親子鳥海山登山等、ふるさとを肌で感じながら学びます。



## ② 少年町長・少年議員公選事業

中高生の公選で選ばれる少年町長と少年議員が、45万円の独自の予算を活用して政策実現を図る少年議会は、第19期を数えました。長年の活動が認められ、令和3年度の全国「マニフェスト大賞」成果部門最優秀賞（全国1位）の栄に浴しました。末尾に掲載の町のマスコットキャラクター「米〜ちゃん」は、2期目の少年議会で制作され広く町民に愛され活用されています。彼らの提案が町の施策として取り上げられ、通学路の街路灯の整備等が具体化しています。



## ③ ボランティア活動

中高生ボランティアサークル「くじら」は活動を始めて25年になり、参加する生徒が年々増えて令和3年度は91名を数えます。活動を通して地域に貢献しようと、幼児から高齢者まで幅広く「交流」を広めてきました。しかし、最近はコロナへの対応で「交流」が制限され、消毒や清掃等の「作業」の割合が増えました。



生徒を支援しようと青少年推進員や自治会の役員等と一緒に活動する姿が見られ、地域協働活動の広がりを見せています。活動の訪問先で感謝の言葉をいただき、一緒に活動する町民から自分たちの行いを価値付けされることで、生徒の社会意識の高揚と自己有用感に結びついています。

## ④ 遊佐高校の存続と魅力化

児童生徒の激減を伴う人口減少が進む中、本町における教育の課題、さらには、まちづくりの大きなテーマとして、県立遊佐高校（学年1学級）の存続があります。

これまで、就学支援金の交付・通学支援タクシーの運行・自動車の普通免許取得への補助金給付等で入学生の応援をしてきました。

3年前から、地域みらい留学制度を活用して県外生の募集を行い、7名の生徒が入学し

て学んでいます。

総合学科の特性を活かし、地域の企業や公共施設等の協力による職場体験を授業にして単位を取得する、「デュアル実践」を通して職業人の基本を身に付けます。進学を希望する生徒は、地元大学等への進学を果たしています。高校の魅力化をさらに進めて、持続可能なまちづくりの一つの柱にしていきます。

## ⑤ コミュニティ・スクールと若者の出番

遊佐中学校の学校運営協議会では、「主役は生徒」を念頭に、代表の生徒の参加による拡大大学校運営協議会の熟議を開催しました。

PTA役員を加えた会の中で、大人が直接中学生の意見を聞きながら、ともに考え、話し合う貴重な機会になっています。地域学校協働活動推進員の活動をサポートする、中学生の地域連絡員の活動と相まって、「子どもたちの夢を育む」まちづくりを推進します。



## ⑥ 「躍動」を基本とする生活習慣の形成

7年前から、“「躍動」する遊佐っ子10か条”を掲げて、「早起き・朝ごはん・躍動・早寝」運動を推進し、大人を巻き込んだ基本的な生活習慣の形成に努めています。

### 「躍動」する遊佐っ子10か条

- 1 はいの返事と明るいあいさつ
- 2 心こめ、日課のひとつ手伝いを
- 3 勉強は自ら進んでいねいに
- 4 体を鍛えいい汗かこう
- 5 読書の時間を大切に
- 6 思いやる心で広げる友達の輪
- 7 ルールを守って安全・安心
- 8 メディアとは上手に付き合い時間を確保
- 9 「ありがとう」いつも忘れず明るい家族
- 10 夢をもち、今日も元気にがんばろう



那須 栄一 教育長

